

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月8日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 脇 一則	
環境-16	実施事業	動物愛護推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	野生鳥獣等への対応

1 事業の目的

対象	犬・猫を飼育する市民等
意図	狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。
効果	狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。</li> <li>・鎌倉市取納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。</li> <li>・狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の維持向上に努めた。</li> <li>・広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し、犬の適正な登録を推進し、未登録犬の解消に努めた。</li> <li>・猫の不妊去勢手術を勧奨し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。</li> <li>・飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。</li> <li>・犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。</li> <li>・海岸での犬の放し飼い防止パトロールを鎌倉保健福祉事務所と共同で実施した。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等の	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	5,299	5,650	当初予算(千円)	8,176		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	5,299	5,650	その他	7,801		
	一般財源	0	0	一般財源	375		
	人員配置数	1.0	1.5	人員配置数	1.5		
事業経費運営	人件費(千円)	7,667	11,568	人件費(千円)	11,628		
	総事業費(千円)	12,966	17,218	総事業費(千円)	19,804		
	市民1人当りの経費(円)	73	98	市民1人当りの経費(円)	112		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-2. 適正な受益者負担を導入している	
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 神奈川県獣医師会、湘南獣医師会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	獣医師会等関係機関と連携し、犬の登録及び狂犬病予防接種を啓発するポスターの掲示、ホームページ等での啓発活動を推進するとともに、その他の有効な周知方法について、関係機関と協議・検討していき、犬の狂犬病予防接種率維持のための事業の継続は必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	狂犬病の発生予防、犬の適正な登録の推進を目標に業務を進めている。狂犬病予防注射の接種向上及び犬の適正登録のため、広報等機会を得て周知・啓発を行っている。また、犬・猫のマナーに関する相談苦情があることから、飼育者のマナー向上の取り組みを鎌倉保健福祉事務所とも連携し継続して進めている。飼い主のいない猫対策については、鎌倉保健福祉事務所及び動物保護団体と連携し、不妊・去勢手術の浸透に努めている。		

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	犬の狂犬病予防接種や、犬の適正登録について神奈川県獣医師会、関係機関等と連携し周知・啓発を図っていく。鎌倉保健福祉事務所と協力し、飼い主のいない猫被害の現状を把握し動物保護団体とも連携し地域で適正飼養する地域猫対策の周知・啓発を図っていく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	神奈川県獣医師会等関係機関と連携し、狂犬病予防接種の周知・啓発を行い、狂犬病予防集合注射を実施した。また、広報かまくらやホームページ等での周知・啓発により、犬の適正な登録の推進を図った。鎌倉保健福祉事務所、動物保護団体と連携し、猫の適正な飼養について啓発を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	犬の狂犬病予防接種や、犬の適正な登録推進について神奈川県獣医師会等関係機関と連携し周知・啓発を図っていく。鎌倉保健福祉事務所と協力し、飼い主のいない猫被害の現状を把握し動物保護団体とも連携し地域で適正飼養する地域猫対策の周知・啓発を図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成30年度 犬の登録数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	横須賀市				
他市実績	10,426頭	23,013頭	3,347頭	22,685頭				

比較事項	平成30年度 狂犬病予防注射率							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	横須賀市				
他市実績	74.8%	76.9%	78.5%	79.9%				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	登録されている犬の狂犬病予防注射接種率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
登録されている犬の狂犬病予防注射接種率の向上を目指すため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	77.7	77.0	77.0	73.7	74.8				
	達成率	77.7%	77.0%	77.0%	73.7%	74.8%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	狂犬病予防注射の接種率が現状維持の傾向にあるため、病気療養中、高齢等による注射猶予犬の状況を把握して、適切な接種率の目標値の設定について検討するとともに、未接種犬への接種勧奨通知などにより、引き続き接種率の向上対策に取り組む。
-----------------------	---